

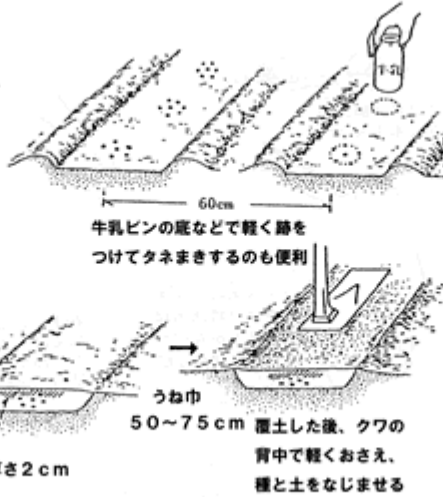
ダイコンの栽培方法

冷涼な気候を好み、15～20℃の気温のもとで最もよく育つ。寒さには強いが暑さには弱い。

①畑の準備



②種まき



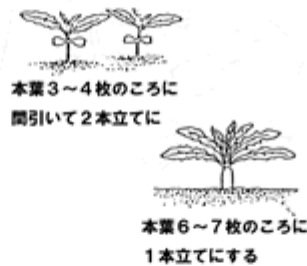
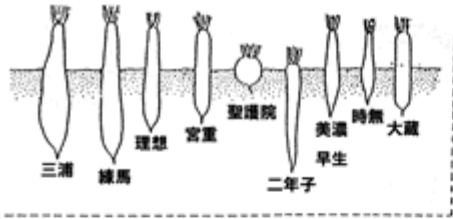
種まきは

秋どり 8月下旬～9月上旬
夏どり 4月

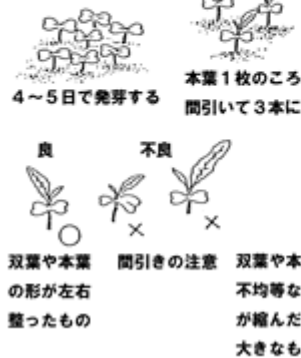
種まきと施肥

秋中で深さ7～8cmのまき溝を作り、その中に株間25～30cmになるように点まきする（1ヶ所5～6粒）
点まきした間に完熟堆肥一にぎり、化成肥料・油粕を各小さじ1杯ずつ与え、覆土してクワの背中で軽くおさえ、種と土をなじませる
土が乾いているときはまき溝にかん水してからまく

ダイコン品種のいろいろ



③間引き



④追肥





第3回追肥
反対側の方に前回同様に追肥する

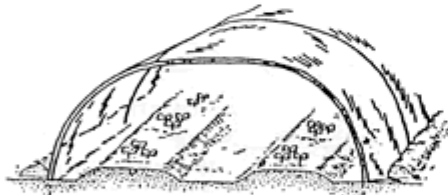


陸稲や麦の間にまくとアブラムシの飛来から守れる



寒冷紗被覆はもっとも確実な飛来防止策である

⑥ 春まきビニールトンネル栽培



135~150cm幅のビニールを用いる
2列を1本のトンネルで覆う



トンネル内いっばいに育ったきたら、しだいに外気にならしてビニールを取り除く

⑤ 病虫害防除



ウイルス病は天敵だが、アブラムシはウイルス病の媒介者である
小さいうちからアブラムシ防除を入念に
DDVP乳剤 1000倍液

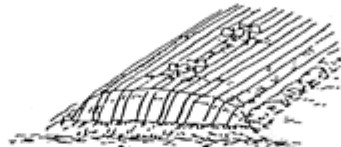


健全



ウイルス病

葉が縮んだり黄化したりして育ちが極めて悪い



上面にシルバーフィルムやシルバーストライプ入りフィルムを敷いて光線反射させるのは、簡単で効果的な方法である

発芽してきたら、ところどころ
裾を上げて換気する。
30℃以上には上げないことを目標とする

⑦ 収穫



断面

葉のつけ根を切ってみて、断面にす入りしているなら根もす入りしている



正常



収穫が遅れると、す入りする



たくさん収穫できたら、干しダイコンにしたり漬物にしたり、用途は広い

中耕と追肥

間引きに合わせて1回目は肥料を株の周りにばらまき、除草グワなどで軽く土と混ぜながら株元へ土を寄せ、風でふりまわされないようにする。2回目3回目はうねの片側ずつにクワで浅い溝を作り、施肥したあと上寄せする。

追肥の量(1アール)

第1回	化成	5kg
第2回	化成	7~8kg
第3回	化成	7~8kg